

～ 成長と安全を両立させる経営財務 ～

資金繰りを改善させる会計実務講座

研修のねらい

企業の事業継続のためには、企業経営における資金の流れを理解することが重要であり、黒字でも資金の流れが止まってしまうと会社の存続に大きな影響を及ぼすことになります。

本研修では、持続的成長を目指すため企業経営における資金の重要性、収益との関係について学ぶとともに資金関連や資金繰りの基本的な考え方、資金繰り表の作成方法について演習を交えながら学びます。

研修のポイント

- ☑ 企業経営における収益と資金の関係、設備資金などについて学びます
- ☑ さまざまな事例から資金の流れを把握し、資金繰り、資金構造について考えます
- ☑ 実習を通じて資金繰り表を作成し、資金の側面から経営改善等について検討します

研修期間

2021年
9/1(水)～9/2(木)

対象者

管理者・新任管理者層

- ・ 資金管理の仕方を学びたい方
- ・ 会計情報の活かし方を学びたい経理担当者

定員 ▶ 15名

受講料 ▶ 22,000円(税込)

会場

長浜ビジネスサポートセンター (長浜商工会議所)

〒526-0037
滋賀県長浜市高田町12番34号

持参物

- ・ パソコン
(大きな画面のパソコンをおすすめします)
- ・ 電卓

月日	時間	科目	内容
9/1 水	8:50-9:00	事務連絡	
	9:00-12:00	企業経営における 経理活動・財務管理の 重要性	企業経営において、活動実績から迅速・適切な経営判断を行うために必要な情報を収集する重要性を学びます。 ・ 企業経営と資金構造 ・ 利益と資金の関係 ・ 企業における資金の流れ ・ 金融支援制度活用のポイント
	13:00-17:00	財務管理の 基本的な考え方	経営における財務管理の重要性について、資金管理と収益性との関係について学び、円滑な資金の流れをつくるために必要な知識を習得します。 ・ 運転資金の影響 ・ 税金負担の影響 ・ 設備資金の影響 (固定資産取得の収支予測)
9/2 木	9:00-12:00	事業継続のための 資金管理・資金繰り表 (演習)	資金繰りの考え方、資金繰り表の作成について、様々な事例を通じて学ぶとともに、ケース教材で資金繰り表作成から課題の抽出、改善策検討を行います。 ・ 手詰まりを防ぐ資金繰りのポイント ・ 資金繰り表の作成方法 ・ 資金繰り表の見方・改善への活かし方 ・ 資金繰り表により生じやすい誤解と対策 ・ 金融機関が着目するポイント ・ 資金繰りから考える経営改善策の検討
	13:00-17:00		
	17:00-17:10	修了証書交付	

講師紹介 (敬称略)



長尾公認会計士事務所 代表 公認会計士

長尾 義敦 (ながお よしあつ)

2002年、公認会計士試験合格後、朝日監査法人(現 あずさ監査法人)に約11年間勤務し、主として、事業再生支援、M&A支援、法定監査、外部・内部研修講師等の業務を行う。
2014年、長尾公認会計士事務所として独立。



松藤公認会計士事務所 代表 公認会計士

松藤 悠 (まつふじ ゆう)

2001年、公認会計士試験合格後、朝日監査法人(現 あずさ監査法人)に約12年間勤務し、主として、株式公開支援、M&A支援、法定監査、外部・内部研修講師等の業務を行う。
2013年、松藤公認会計士事務所として独立。

FAX 0790-22-5942

中小企業大学校関西校 研修担当 行

■貴社の概要について(必ずご記入ください)

ふりがな 企業・団体名		
ふりがな 代表者名(役職)		
〒 住所		
代表	TEL ()	—
	FAX ()	—
連絡担当	部課名	ふりがな 氏名
	TEL ()	—
	FAX ()	—
	E-mail:	

(1)業種(該当する番号に○をおつけください)
D 建設業(06 総合工事 07 識別工事 08 設備工事)
E 製造業
09 食料品 10 飲料・飼料 11 繊維工業 12 木材・木製品
13 家具・建具 14 パルプ・紙 15 出版・印刷 16 化学
17 石油製品・石炭製品 18 プラスチック製品 19 ゴム製品 20 革製品
21 窯業・土石製品 22 鉄鋼 23 非鉄金属 24 金属製品
25 汎用機械器具 29 電機機械器具 31 輸送機械器具 32 その他
G 情報通信業
H 運輸業
I 卸売業 I 小売業
a 繊維品 b 化学製品 c 機械器具 d 建築材料等 e 衣服 f 食料
g 医薬品 h 家具 i 什器等 j その他()
N サービス業 U その他()

(2)資本金 万円	(3)従業員数 人	(4)創業年月 年 月
--------------	--------------	----------------

(5)主要取扱品目:

■受講者について

【申込コースおよび受講希望者情報】研修テーマ:(2162)「資金繰りを改善させる会計実務講座」～成長と安全を両立させる経営財務～

コースNO.	(フリガナ) 受講者名	部署・役職(役職を記載の上該当区分○)		年齢 歳	性別 男・女
		部署	役職		
		1.代表者 2.役員 3.管理者 4.管理者候補等			
	緊急連絡先(携帯)	※緊急事態(研修中止等)の際、ご連絡するためにお聞きしています。			

※複数名参加の際は、申込書をコピーしてお申込下さい。

<反社会的勢力でないことの確約について>

当社(当機関)は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。

今回の研修を知ったきっかけについて、該当するものに○をご記入ください。

1. 研修ガイド 2. チラシ 3. ホームページ 4. ウェブ広告・SNS 5. メルマガ 6. 他社の紹介・口コミ 7. 自治体・商工団体 8. 金融機関
9. 新聞・雑誌・ラジオ・街頭広告 10. 大学校・中小機構職員の訪問・電話 11. セミナー・イベント 12. その他()

<長浜ビジネスサポートセンター>



- 【アクセス】・JR「長浜」駅から徒歩13分
・湖国バス「西中前」停留所すぐ
・無料駐車場あり

●お申込み方法

- こちらの申込書をFAXでお申込みいただくか、関西校HPのオンラインでお申込みください。
- 受講申込後、開校日の約1か月前から「受講料振込依頼書」を郵送いたしますので、所定の期日までに受講料をお振込みください。
- 応募多数の場合はキャンセル待ちをいただくか、もしくは受講をお断りすることがございますので、お早目のお申込みをおすすめします。

- 多くの研修には、自社の課題を分析する科目(演習)があり、受講者はその課題を持参いただくことが受講要件となりますが、ご対応いただけない場合などには、受講をご遠慮いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

●受講申込みにおける個人情報の保護について

- 中小企業大学校関西校では「個人情報保護法」に基づき、個人情報の適切な管理に努めてまいります。皆様から頂戴しました受講申込書に記載されている内容をもとに、今後お客様に有益と思われる研修など当機構内で実施する事業のご案内を郵便、電子メール、FAX等でお送りさせていただくことがあります。
- また、研修実施にあたり、講師に個人情報を通知する場合がありますが、より効果的な研修にすることを目的に行うものです。「個人情報」につきましてご質問がありましたら関西校までお寄せいただくようお願いいたします。

- 研修会場には、受講者用の駐車・駐輪施設がありませんので、ご来場にあたっては公共交通機関のご利用をお願いいたします。また、宿泊施設は併設していませんので、宿泊が必要な方は、各自でご手配をお願いいたします。

中小企業大学校 関西校

〒679-2282 兵庫県神崎郡福崎町高岡1929

TEL : 0790-22-5931 FAX : 0790-22-5942

URL : <https://www.smrj.go.jp/institute/kansai/> E-mail : kenshu-kansai@smrj.go.jp